

# 第46回近畿小児血液・がん研究会 プログラム・抄録集

日時：2024年3月16日（土）9:30～15:50  
場所：和歌山県立医科大学伏虎キャンパス  
（薬学部キャンパス：和歌山市七番丁25番1）  
会長：和歌山県立医科大学小児科 神波信次

第46回近畿小児血液・がん研究会事務局

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1

医師部門：辻本 弘

看護部門：東山好美

メール：46kinped@wakayama-med.ac.jp

ホームページ：第46回近畿小児血液・がん研究会

<https://www.wakayama-med.ac.jp/med/shonika/46kinped/index.html>



本部事務局

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2

大阪大学大学院医学系研究科 小児科内

近畿小児血液・がん研究会 事務局

TEL：06-6879-3932 FAX：06-6879-3939

## ご挨拶

第46回研究会を和歌山で開催させていただくこと、皆様にお礼申し上げます。地球温暖化とは言え、3月16日皆様を和歌山城の桜でお迎えすることができるか微妙な季節です。せめて明るくて暖かい和歌山の陽気でお迎えできればよいのですが。

今回の研究会から一般演題に優秀演題賞を設けることになりました。賞をどないしようの頃に、イマドキの初期研修の先生に「そら人間誰でも褒められるのは嬉しいしょ」の“格言”を頂きました。「イマドキの…」になりがちな老人には妙に静かな感動で、肩肘張らず優秀演題賞が研究会の楽しい一コマになればと思えました。近畿のなかでも少子化・人口減少が急速に進む和歌山（いわゆる1Aなし県候補）でも、医看薬学部生にまず子どもに興味を持ってもらい、さらに血液・腫瘍分野にリクルートする必要があります。医師部門はその投資として若手優秀演題賞となっています。準備に、せっかち、かつ身勝手なアンケートを世話人の先生方をお願いするなどお騒がせしました。あらためて諸先生方、後押し頂きました研究会事務局大阪大学宮村先生、看護部門担当：大阪母子医療センター澤田先生、神戸大学小倉看護師様、代表世話人兵庫県立こども病院小阪先生に深謝申し上げます。始めさせていただきます。

研究会は一般演題、企業共催セミナー「腸内細菌叢とがん免疫療法」、公開シンポジウム「ともに学ぼう小児がんーがんゲノム医療ー」の三部構成になっています。また当研究会事務局が主催ではありませんが、「手伝ったげる」と言ってくれた子どもたちの活躍の場にレモネードスタンド“ほっこりしちやあるで”が開店します。花粉症に効くじゃばら果汁の用意もあるそうです。是非ご利用お願いいたします。

良い一日になればと和歌山県立医科大学小児科一同努めます。遠方にはなりますが多数のご参加、また活発なご議論をお願い申し上げます。

2024年2月

和歌山県立医科大学小児科

神波信次

## ご案内

### 【参加者の皆様へ】

- ・ 研究会参加費は2,000円です。(学部生、初期研修医、一般の方は無料)
- ・ 参加事前登録はありません。一般の方は公開シンポジウムのみ参加可能です。
- ・ 受付は9時開始です。一般の方は13時15分から受付いたします。
- ・ ランチョンセミナーは事前登録、チケット配布などありません。
- ・ 託児サービス、クロークでの荷物のお預かりは予定していません。申し訳ありません。

### 【ご発表の皆さまへ】

- ・ 一般演題は医師部門：発表6分、質疑応答2分、看護部門：発表7分、質疑応答3分、です。
- ・ 当日、USBメモリで発表データをご持参下さい。できる限りWindowsでの発表データ作成をお願いします。Mackintoshで作成された場合、Windowsでの動作確認を必ずお願いします。ご注意ください。研究会事務局が準備するパソコンはすべてWindowsです。パソコン端末の持ち込みは対応していません。

### 【学会単位取得について】

本研究会に参加することにより、日本小児血液・がん学会研修単位を4単位取得することができます。また、共催企画講演（ともに学ぼう小児がんーがんゲノム医療ー）を受講することで日本小児科学会新専門医制度小児科領域講習1単位、さらに下記にも記載の通り、小児血液・がん専門医ならびに小児がん認定外科医の申請・更新のための研修単位5単位を取得可能です。

### 【関連会議】

13時40分～15時50分 小児血液・がんセミナーin 関西

近畿小児血液・がん研究会・公益財団法人がんの子どもを守る会・日本小児血液・がん学会共催企画は、小児血液・がんセミナー in 関西としても開催します。

\*本セミナー受講により、小児血液・がん専門医ならびに小児がん認定外科医の申請・更新のための研修単位5単位を取得可能です。参加者には当日受講票をお渡しいたします。

\*現地開催のため、事前の参加登録は不要です。

## 第一会場 301

9:30~11:30 医師部門 一般演題 (14 題)

### セッション 1 9:30~10:10

座長：岡田恵子 大阪市立総合医療センター 小児血液腫瘍科

- D-1 血球減少および発熱性好中球減少症の治癒 1 か月後に発症した B-ALL の一例  
大阪母子医療センター 血液腫瘍科 井上将太
- D-2 家族歴から先天性 PAI-1 欠乏症が疑われ毛髪牽引により帽状腱膜下血腫をきたした幼児例  
奈良県立医科大学附属病院 小児科 大砂光正
- D-3 汎血球減少と成長障害・発達遅滞を呈し初診時 MCV 正常であったビタミン B12 欠乏の幼児例  
兵庫県立尼崎総合医療センター 小児科 田中邦昭
- D-4 小児再生不良性貧血に対するウマ抗胸腺細胞グロブリンの投与経験 –ウサギ抗胸腺細胞グロブリンと比較して–  
近畿大学病院小児科・思春期科 黒川 優
- D-5 臨床学的腫瘍崩壊症候群の発症を予防し得た腹部原発 Burkitt リンパ腫の 2 例：  
予防的血液浄化療法と腎瘻造設の工夫  
関西医科大学小児科 江守公平

### セッション 2 10:10~10:50

座長：宮地 充 京都府立医科大学 小児科

- D-6 pseudo-Meigs 症候群を呈した Gynandroblastoma  
大津赤十字病院小児科 平田朋浩
- D-7 腎芽腫症に対する多剤併用化学療法  
兵庫県立こども病院 血液・腫瘍内科 西尾周朗
- D-8 TP53 変異陽性の退形成性胎児性横紋筋肉腫を発症した 3 歳女児の一例  
大阪市立総合医療センター小児血液腫瘍科 松岡祐樹
- D-9 がん遺伝子パネル検査を実施した小児がん患者の単施設における検討  
京都大学医学部医学科 小川貴也
- D-10 心移植後 EB ウイルス陰性悪性リンパ腫の 1 例  
大阪大学大学院医学系研究科小児科学 馬場達也

---

セッション 3                    10:50～11:30  
座長：三谷 泰之                和歌山県立医科大学 第二外科

---

- D-11 デスモイド腫瘍との鑑別を要した *MEG3::PLG1* 融合遺伝子陽性 fibroblastic variant lipoblastoma の一例  
京都府立医科大学 小児科 生嶋 諒
- D-12 頭頸部領域に多発した、乳児期発症の腹腔外発生デスモイド型線維腫症の治療経験  
公益財団法人田附興風会 医学研究科 北野病院 小児科 三上真充
- D-13 腹腔鏡下副腎腫瘍摘出術後の病理診断で良悪性の判断に難渋したアンドロゲン産生性副腎皮質腫瘍の1例  
大阪母子医療センター 小児外科 竹村理璃子
- D-14 Cystic teratoma を合併した Malignant mixed germ cell tumor の1例  
奈良県立医科大学 消化器・総合外科 黒田靖浩

若手優秀演題賞候補演題には、演題番号に文字網かけをしています。計 12 演題から 2 演題を表彰します。

---

会員総会、優秀演題表彰式                    11:35～11:50



©のしさやか

---

---

公開シンポジウム 13:40～15:50

共催企画 近畿小児血液・がん研究会 公益財団法人がんの子どもを守る会 日本小児血液・がん学会

---

ともに学ぼう小児がんーがんゲノム医療ー

司会：狗巻見和（和歌山県立医科大学 保健看護学部）神波信次（同 小児科）

- S-1 がんゲノム医療について教えてください：  
がんの子どもを守る会関西支部アンケート調査から  
和歌山県立医科大学 分子遺伝学講座 辻本 弘
- S-2 小児がんとゲノム医療：がんのこどもたちに最新の遺伝子検査を！  
大阪市立総合医療センター 小児血液腫瘍科医長 山崎夏維
- S-3 がんゲノム医療における看護師の役割  
聖路加国際病院 看護部 大川 恵
- S-4 患者の立場から、がんゲノム医療に求めること  
ダカラコソクリエイト発起人・世話人 谷島雄一郎

総合討論

---

第二会場 304

---

9:30～10:20 看護部門 一般演題（5題）  
座長：杉本 愛 和歌山県立医科大学附属病院

---

- N-1 造血幹細胞移植に関する治療説明を拒否した学童期の患者の思い  
地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 末松実波
- N-2 小児科病棟に入院中の患児にとって効果的な手洗い指導の検討  
和歌山県立医科大学附属病院 10階東病棟 北本直子
- N-3 長期フォローアップ中の二次がん高リスク症例の抽出と早期発見・予防に繋げる  
関わり  
大阪市立総合医療センター がん医療支援センター 山地亜希
- N-4 内服経験がない自閉症患児への内服支援  
和歌山県立医科大学附属病院 NICU 宮本智未
- N-5 小児がん拠点病院が継続主催する小児がん看護研修の取り組み  
兵庫県立こども病院 塚田友紀

---

10:20～11:20 「小児がん長期フォローアップ外来」セッション  
座長：北本直子、東山好美 和歌山県立医科大学附属病院

---

L-1 ミニレクチャー「小児がん長期フォローアップ外来」  
京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻客員研究員 竹之内直子

各病院での取り組み

大阪大学医学部附属病院 藤本絵里  
兵庫県立こども病院 中谷扶美  
奈良県立医科大学附属病院 早川友香

質疑応答

---

11:20～11:30 近畿小児血液・がん研究会 看護部門からの報告

---

第三会場 302

---

12:10～13:10 ランチョンセミナー  
共催：中外製薬株式会社

---

「腸内細菌叢とがん免疫療法」

座長：徳原 大介（和歌山県立医科大学 小児科学講座 教授）  
演者：大谷 直子（大阪公立大学大学院医学研究科 病態生理学 教授）